



### 能登谷安紀子ヴァイオリンコンサート



3月25日、える夢館で豊頃町民芸術鑑賞会「能登谷安紀子ヴァイオリン・コンサート」(町教育委員会主催)が行われました。

能登谷安紀子さんは、ヴァイオリニストの他に、オーケストラ、合奏・合唱指導、作曲活動など札幌、東京、横浜を中心に幅広く活動を行っています。

当日はピアノ奏者の友清祐子さんとの演奏で、前半はドヴォルザーク等の著名な作曲家を中心に9曲、後半は能登谷さん自身が作曲した「春」、「そよ風」等の7曲、全16曲を演奏し、町内外から訪れた約60人を魅了していました。

### 豊寿大学入学・開講式



4月18日、平成28年度豊寿大学入学・開講式がえる夢館で行われました。

今年は、5人の入学生を迎え、文学科や手芸科、社交ダンス科など8学科で84人の学生が、生きがいのある生活づくりや社会参加のための学習を行います。

学長の菅原教育長は、あいさつの中で「豊寿大学の活動を通して今までの豊富な経験や培ってこられた、たくさんの知恵を、まちづくりのために発揮してくださるよう期待します」と述べました。

式の後、オリエンテーションが行われ、1年間の活動計画などを確認し、午後から各学科に分かれて1回目の活動を行いました。

### ひだまり交流館オープン



4月9日、福祉活動拠点施設「ひだまり交流館」のオープン記念イベントが行われました。

施設を管理運営する社会福祉協議会の菅谷誠会長は、あいさつの中で、「幼児から高齢者まで幅広く交流できる施設となっている。この施設を大切に育ててほしい」と述べました。

この後、宮口町長、菅谷会長とともに、「ひだまり交流館」の名づけ親である西本順子さん3名でケーキカットを行い、カットされたケーキは来場者に振る舞われました。

また、二宮金次郎体操、フラダンス、「与作」などの舞台発表、イベントの最後にはお楽しみ抽選会が行われ、来場者を大いに賑わせていました。

### 第41回乳牛ジュニアショウ



4月11日、町乳牛改良同志会(杉岡慎也会長)主催の『第41回乳牛ジュニアショウ』がとよころ農業機械センターで行われ、月齢5か月から24か月未満までの未経産牛32頭が、6部門に分かれて、体格や将来性を競い合いました。

どの牛も見事で、審査にあたった音更町の酪農家、小原潤哉さんも順位をつけるのに苦労されていました。各部門の上位2頭で競われた最高位および準最高位は次のとおりです。(敬称略)

- 【最高位】ロードビュー アン アフター-X ET (山本雅樹)
- 【準最高位】エルムランド アツドウト メロディ 2083 ET (山口雄峰)

▽はるにれは見ていた

▽はるにれは見ていた

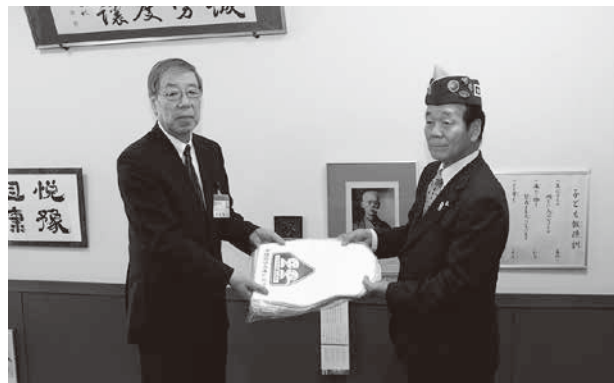
議会だより

議会だより

役場だより

役場だより

### ランドセルカバーを寄贈



4月4日、豊頃ライオンズクラブの山保崇会長が教育委員会を訪れ、今春、町内の小学校に入学する児童の交通安全対策として、ランドセルカバーを寄贈されました。

例年、入学式を控えたこの時期に贈られており山保会長は「くれぐれも交通事故に遭わないよう、ライオンズ一願っています」と願いを込めて菅原教育長に手渡しました。

ランドセルカバーは黄色のビニール製で、「こうつうあんぜん」と書かれており、遠くからでも目につきやすいデザインとなっています。

カバーは入学式で学校を通じて各児童に贈られました。

### 第21回豊頃地域コミセンまつり



4月3日、豊頃地域コミュニティセンターで、豊頃地域づくり協議会(相澤和幸会長)主催の「豊頃地域コミセンまつり」が開催されました。平成8年から21回を重ねたこのまつりは、すっかり地域に定着し、毎年多くの方が楽しみにしています。

毎年恒例となった「輪投げ大会」から始まり、会場では、牛乳や「いも・かぼちゃだんご」の無料提供、バザーや昼食会が行われました。

また午後からは、町消防署員を講師に招き「救急(応急)手当について」と題した出前講座が行われ、その後はすみれ民舞会やカラオケ同好会などによる舞台発表、最後にビンゴ大会や福もち振る舞いが行われ、訪れた皆さんは楽しいひと時を過ごしていました。

### 大津漁協青年部直販まつり



4月17日、大津漁協青年部(竹田真久部長)主催の第11回『大津漁協青年部直販まつり』が大津漁協荷捌所で行われ、大津前浜沖でとれた『安心・安全・そして安い』新鮮な魚介類を求め多くの買い物客が詰めかけました。

販売開始前から行列ができ、整理券を配布するほどの混雑ぶり。先着30名限定の特売セットは早々に完売し、皿貝のつかみ取りや、活ホッキやタコ足、ツブなども瞬間に売れていきました。また、JA豊頃町青年部からホットココア、町商工会青年部からかじか汁がどちらも無料で振る舞われ、買い物を終えた客らが舌鼓を打っていました。

### 大津小でサケの稚魚放流



4月21日、大津小学校の児童が校内で飼育したサケの稚魚約400匹を同校の近くの十勝川支流に放流しました。

昨年に引き続いて大津保育所の子どもたちも参加しました。

児童を代表して佐々木蓮さんが「今まで育ててきたサケを放流します。大きくなって大津に帰って来てねと願いを込めて放流しましょう」と挨拶すると、5cmほどに成長したバケツの中の稚魚を紙コップですくい上げ、川に放流しました。

元気に泳ぐ稚魚を見て子どもたちからは歓声が上がっていました。

